

研修企画書

斐 鎬洙 (ペ ホス)
ミカタプラス
MAIL : contact@en-coach.com

【タイトル】

サービス担当者会議を機能させる3つの仕掛け

【対象者】

- (施設・在宅を問わず) すべての介護支援専門員
- 介護支援専門員を育成・指導する立場にある部門管理者及び主任介護支援専門員

【受講で得られる主なメリット】

- 見よう見まねではないサービス担当者会議の運営ができるようになる
- 参加者から意見が出やすい会議運営ができるようになる
- 会議前・会議中・会議後にやるべきことを的確に指導できるようになる

【コンセプト (概要)】

サービス担当者会議は、チームメンバーとともに、チームケアの方向性や具体策について決定する会議ですが、効果的な会議のやり方について教わる機会には恵まれていません。

ケアマネジャーになりたての頃に、先輩の会議に同席し、その時に見た先輩のやり方を参考に我流で会議を運営しているため、「担当者会議のやり方はこれでいいのだろうか?」という不安を抱えているケアマネジャーの声をよく耳にします。

また、わたし自身、事業者側の立場でサービス担当者会議に参加し、様々なケアマネジャーのやり方を見てきましたが、「利用者が置き去りにになっていることに気づいていない」「意見の出にくい進行をしていることに気づいていない」という実態がありました。

この研修では、サービス担当者会議がより効果的に運営できるようになるためのポイントを学び、ケアマネジャーが抱える不安を払拭することができます。自信をもってサービス担当者会議を運営できるようになりますので、初心者・経験者とわず、オススメのプログラムです。

【所要時間】

基本 2 時間 (60分~180分で調整可)

【講師料】

参加人数・時間により応相談

【内容】

1) サービス担当者会議の位置付けの確認

- よくあるサービス担当者会議の悩み
- 運営基準におけるサービス担当者会議の位置付け
- カギとなるのは「準備」と「明確さ」

2) 良くない会議運営の事例

- ・利用者がおきざりになる会議
- ・ケアプランを読み上げるだけの会議
- ・専門職からの発言が少ない会議 等

3) 会議を機能させる3つの仕掛け

- ①会議の効率を上げるのに実施率10%の「事前」の仕掛け
- ②会議が円滑に進行できる「会議開始時」の仕掛け
- ③発言をうながす「問いかけ」の仕掛け

4) 会議参加者からみたサービス担当者会議

- ・ケアマネジャーに言えずにいること
 - ▶ケアプラン原案の不完全さ
 - ▶会議進行への不満
 - ▶ケアマネジャーのスキル不足 等
- ・「裸の王様」にならないために

【研修実施の流れ】

- ①お問い合わせ
- ②お打ち合わせ（研修目標・内容・日時・講師料等の確認・合意）
- ③事前準備物の確認
- ④研修実施・アンケート回収
- ⑤請求・お支払い